

くれない

Vol.37
平成28年
4月25日 発行

武蔵野女子学院 同窓会くれない会

本願寺と伝灯奉告法要について

浄土真宗が他の仏教宗派と大きく異なる点は、宗祖である親鸞聖人の子孫によって、そのみ教え（法灯）の継承がなされていることです。もともと本願寺は、親鸞聖人の墓所から始まりました。本校は言うまでもなく浄土真宗本願寺派（西本願寺）の系列校ですが、なぜ本願寺は東西の二つに分かれているのでしょうか。

時は戦国時代。天下統一を目指す織田信長の大きな壁となったのが本願寺でした。当時の本願寺は大阪にあり、多くの民衆の心の拠り所となっていました（石山本願寺）。信長にとってはどうしても倒さなければならぬ一大勢力だったのです。その戦いは十一年におよび、第十一代顕如上人はついに石山本願寺を退去します。この時長男の教如上人は信長との徹底抗戦を主張したため、父の顕如上人から一度義絶されてしまいます。信長の死後、天下統一を果たした豊臣秀吉は、現在の京都七条堀川の地に寺地を寄進し、本願寺は再建されます。後を継がれたのは三男の准如上人でした。さらに秀吉亡き後、天下人となった徳川家康は教如上人のために新たに寺地を寄進。現在の東本願寺が建てられ、ここに本願寺は東西に分かれることになったのです。一説には老獪な家康が強大な本願寺の勢力を分断するためであったともいわれています。

本願寺派では平成二十六年六月六日



写真提供・京都西本願寺

に大谷光淳様が第二十五代門主となられました（専如門主）。今年の十月一日より来年の五月三十一日まで、西本願寺で「伝灯奉告法要」が行われます。この法要は、宗祖親鸞聖人があきらかにされた浄土真宗のみ教え「法灯」が継承されたことを阿弥陀如来と聖人の御前に奉告し、この法要を縁としてお念仏の教えが広く世の人々に伝わることを願って勤められるものです。浄土真宗にとって非常に大切な法要ですので、一人でも多くの方々に参拝していただきたいと存じます。

（文・艸香秀昭）

歴代宗主（本願寺派）

ご開山	親鸞聖人	(1173～1263)
第2代	如信宗主	(1235～1300)
第3代	覚如宗主	(1270～1351)
第4代	善如宗主	(1333～1389)
第5代	緯如宗主	(1350～1393)
第6代	巧如宗主	(1376～1440)
第7代	存如宗主	(1396～1457)
第8代	蓮如宗主	(1415～1499)
第9代	実如宗主	(1458～1525)
第10代	証如宗主	(1516～1554)
第11代	顕如宗主	(1543～1592)
第12代	准如宗主	(1577～1630)
第13代	良如宗主	(1612～1662)
第14代	寂如宗主	(1651～1725)
第15代	住如宗主	(1673～1739)
第16代	湛如宗主	(1716～1741)
第17代	法如宗主	(1707～1789)
第18代	文如宗主	(1744～1799)
第19代	本如宗主	(1778～1826)
第20代	広如宗主	(1798～1871)
第21代	明如宗主	(1850～1903)
第22代	鏡如宗主	(1876～1948)
第23代	勝如宗主	(1911～2002)
第24代	即如門主	(1945～)
第25代	専如門主	(1977～)

表紙について 昨年くれない会では京都西本願寺参拝行を実施しました。本願寺の建築物は豪華でスバライものでした。その感激を皆様にお届け致します。
（手前：阿弥陀堂（国宝） 後方：御影堂（国宝））



教育の不易と流行

学校法人武蔵野大学 学院長
くれない会名誉会長

田中 教照

本学院の教育の使命は、改めて申すまでもないことです。生徒の十年後二十年後のこの国の社会の姿を見越して、それに適応できる能力を身につけさせることです。生徒の現在だけではなく、未来に思いを馳せ、深い情愛をもって叱咤激励してこそ、教育の名に値すると言えるでしょう。

二十一世紀は情報社会です。情報が瞬時に世界を駆けめぐる時代です。ということは、生徒の未来は世界が活躍の舞台です。今、日本全国をマイカーで旅するように、十年後の生徒たちは、マイブレインで世界中を飛び回っていても不思議ではありません。そうなった時、生徒たちに必要な教養は国際化がキーワードでしょう。

最近のおけいこ事はピアノよりも、英会話の人氣が高いようです。これはまちがいなく、世界に通用する人になってほしいという親の願望のあらわれだと思います。何を実現することが子どもたちの未来を明るくし、かつ親の気持ちに寄り添うものであるかを明確に打ち出していくことが、時代の要請に答えることになるでしょう。

教育には、不易と流行の両面があり、情報化、国際化は流行ですが、不易は人間教育です。これは、どんなに時代が変化しようとも見失ってはならないものです。高潔な、尊敬に値する資質を持つ人

格者でなければ、どんな仕事も成し遂げることはできません。仕事は協力しあってこそできるものですから、この人になら協力したいと相手に思わせるものがないければ、誰も協力はしてくれません。自分勝手な思いや行動が先に立ってしまうことを深く反省する心の教育は、人間関係において大切なことです。

仏教の開祖、釈尊を理想の人格として仰ぐ、ということは、釈尊が「生きとし生けるもの」の幸せを願い、二千五百年後の今日にも通用する真理を明らかに説いてくださったことを鑑として頂いていく、ということでしょう。目先のことにこだわったり、内向きな議論に終始する自分を、釈尊を鑑として、なんと心が狭いのかと思ひ返し戒める時、前を向いて歩んでいく勇氣がおのずから湧いてきます。仏さまのおん前で合掌し、日々、反省する中に、高い理想に導く仏の力が現れると私は考えています。「おおいなるものの力に引かれ行く」とは、築地本願寺を中心に活躍なさった九条武子女史の感懐でした。

平成二十八年年度、学校法人千代田女学院と我が学校法人武蔵野大学は合併いたします。お互いに力を合わせて難局を乗り越えていかなければなりません。両法人が共通にする建学の精神を柱に、本学院の教育の使命を果たしていきたいと思



武蔵野女子学院の現状と今後

武蔵野女子学院中学校高等学校 学校長
くれない会顧問

木谷 道明

現在の日本の学校教育は、「教育」と「学問」が入り乱れ同じものと捉えられている傾向があります。公立も私立も同じに進学競争の渦の中で学校の進むべき道が少しずつずれてきて、今まさに危機的状況にあることを認識しなければなりません。私立学校には「教育」と「学問」を別のものと捉え、それをどのようににリンクさせていくかが問われています。武蔵野女子学院での現状も明

す。武蔵野女子学院での現状も明ら

ら

が、MJ仏教精神を基にして教職員と共に学び実践し、それを生徒に指導し共に学び実践して参りたいと思っております。

「学問」では心の教育を核として、自然に身につく学習・自ら学ぶ姿勢を培っていきます。MJAL（アクティブラーニング）・MJICT・MJSG等の学問手法を取り入れて、生徒に将来への希望を与えられるように指導していきます。

生徒のため、教職員のため、さらに卒業生の皆々様のために、学校運営に学校改革に邁進していく覚悟でございます。古き良きものは残しつつ、必ず多くの人に親しまれる新しい学校を作っていきます。世界に一つしかない学校として評価されるように導いていきたいと思っております。まだまだ自分自身いたらないところがいっぱいあると自覚しておりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



ご報告

くれない会会長（高校十八回生）

阿部 美枝子

同窓会の皆様にご挨拶申し上げます。

平成二十八年三月に卒業生二二二名（六十七回生）をくれない会新会員に迎え致しました。今年度で会員は、総勢

二万三四一七名となりました。

この一年間のくれない会の活動をご報告申し上げます。

一 会員皆様のご賛同のもとに発刊し

ました戦争証言集『あの日をわすれないために』が、お陰様で一二〇〇部（寄贈を含めて）完売致しました。更に、八〇〇部増刷しまして、販売中です。

多くの同窓生から御寄付を頂き、お陰様で、総額約二〇〇万円となりました。出版に際し、くれない会の基金を全く使うことなく、発刊できましたことに、深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

この本を、多くのマスコミに取り上げて頂きました。

27年7月9日 東京新聞夕刊、第一面大きく

9月3日 朝日新聞アサコ

12月1日 本願寺新報

地域文化情報誌『武蔵野くろす

★とく 8月号

28年3月18日 ラジオ「むさしのFM」で対談

むさしのFMのホームページで視聴できます。「むさしのFM 発信！わがまち・武蔵野人」で

検索下さい

二 高女十七回生、二十一回生が、フジTVの戦後七十年の特番で、インタビューを受け、八月十五日に放映、本願寺新報からも高女十九回生がインタビューを受け、十一月十日 本願寺新報に掲載されました。

三 くれない会近畿支部設立五十周年のお祝の会と京都西本願寺参拝旅行を実施しました。総勢約六十名の参加者があり、念願の本願寺飛雲閣も見学できました。

四 十二月三日、散華乙女追悼会・写真展・同窓生と高校三年生との懇談会を行いました。追悼会には、約

一〇〇名もの参列者があり、田中学院長先生より『あの日をわすれないために』の中の小沢八重さんの一文を朗読され、式辞がありました。写真展は、在庫の写真と『武蔵野の空襲を記録する会』よりお借りした他に、西東京市の協働コミュニケーション課より、一トン爆弾の模型もお借りして展示しました。

五 中学高校主催グラントピアノ寄贈コンサートがありました。

六 今年度も、文化祭バザー売上金より三万円を中学高校の生徒会に寄付しました。

七 今年度の教養講座は、絵手紙、ポーチ作り、お正月飾りを製作しました。

八 くれない会維持会費納入方法について、以前から利便性を考慮してコンビニ納入が提案されていまして今年度からゆうちょ銀行に加えコンビニでの支払いを導入いたします。会員数は二万三四一七名、会報送付者一万五三一〇名で、皆様の利便性が図れると思います。ご協力お願い致します。

昨今、少子化の影響からか中学の入学生が減少してきています。私達同窓生が、母校の発展の為にどんな手立てが出来るか、皆様からのご意見・アドバイスを頂きたいと考えます。どうぞよろしくお願い致します。

本年度も皆様どうぞお元気でお過ごし下さい。



北欧デンマークからの便り

澤渡 夏代（なつよ）
ブランド（高校十八回生）

新しい年の初めに、何と五十年ぶりに母校武蔵野女子学院（以下女子学院）同窓会くれない会の連絡を受け、私の心の奥に潜んでいた女子学院の六年間の思い出が一気に目を覚ました。

私は女子学院を卒業した数年後ヨーロッパに渡り、縁あってデンマーク人と結婚し、はや半世紀の歳月をデンマークで生活しています。しかし、十二歳から十八歳の多感な時期を過ごした女子学院での学びは、常に私の心の奥深くに暖かく残り、その後の私の人生の大切な栄養源となっています。

甘い思春期の想いに浸るのも束の間のこと、日本の友人の電話で「今年はお互いに古希ね。」と告げられ現実に戻されました。そして「でもあなたは福祉の豊かな国に住んでいるから老後は安心ね。」とちよつと羨ましさを含んだ言葉を付け加えました。

確かにデンマークは、「高いのは税金の額と女性の地位、低いのは貧富の差と預金額」と象徴されるように、所得の約半分と付加価値税二五％を収め、熟達した男女共同参画社会であり、「高負担」の見返りに「高福祉」が保障されているならば将来への蓄えは不要ということのようです。

例えば教育費は向学心と適応性があれば大学教育まで無料、医療費は全て無料、保育保障と児童手当、老齢年金の支給、充実した障害者・高齢者ケアなどが税金を財源として皆に平等に安心した生

活を保障しています。

デンマークの高齢者福祉は三十年前に「できるだけ長く住み慣れた家で」というキャッチフレーズで二十四時間体制の在宅ケアが整備され、今は政策の主流となっています。一方、ナースینگホームは、在宅では介護・看護に限界が見えた高齢者の最終的なケア手段とされています。

どこからか「無料ならどんどん利用したら」と、いう声が聞こえてきそうです。でもデンマーク人は「できる限り自分の生活は自分で」という自分の生活に責任をもつ自立の精神が非常に強く、無料でもむやみに利用するという発想がありません。

しかし、ひとたび病気や加齢で心身の機能が低下し、日常生活が困難になった場合、公共の福祉サービスという安全ネットがあります。

例えば私が機能低下を起こして支援が必要となれば、私の住む自治体に連絡し自治体の判定を受けてサービスが始まります。自治体は判定が下りた利用者に「必要な人に必要な時必要なだけ」を基本理念にサービスが提供されます。

デンマーク人は高齢期を「歳をとるために生きるのではなく、生きるために歳をとる」といいます。私もサービスを受ける側にならないように毎日を建設的に過ごしていきたいと願っています。

プロフィール

デンマークの福祉・教育分野の講演並びに執筆活動
主な著書に「デンマークの子育て・人育ち」
「デンマークの高齢者が世界一幸せなわけ」（大月書店）
その他、雑誌・専門誌に記事多数

同窓生

訪問



岡部 喜久枝
(高女16回生・岩崎)
(株)ヤマヲ役員
ソロプチミスト立川会員

◆女子学院での思い出

私達の時代、小学校から女学校に進むのは、クラスの半数以下でした。武蔵野女子には、立川から七、八名(私達の学年)通っていたと記憶しています。一クラス四十名位で、紫・紅・緑組と三クラスありました。野外劇場(現在のグラウンド)で遊んだり、紅雲台の和室でお作法を習いました。学院の立派な樹木も、当時は低い木で白い校舎がよく見えませんでした。入学式には、講堂に花御堂があり、とてもきれいだったのが、今でも目に浮かびます。髪は肩まで長い髪は、三つ編みのおさげ髪にする決まりがありました。高楠先生が、「将来大学を創りたい」とおっしゃっていましたが、現在立派な大学もでき、本当にうれしく思います。

昭和十六年十二月八日、あの日から急に暗い戦争の影がしのびよってきて、体育の時間に、教練で難刀(なまな)を習いました。立川の資材(しやうざい)敵で馬具等の点検作業など勤労奉仕も少ししましたが、比較のおだやかな学院生活だった気がします。卒業後

は、姉妹校だった千代田女子専門学校に進みましたが、勤労奉仕で凸版印刷(株)に行ったり、千葉の農家に泊まり込みで炊き出しのお手伝いに行ったりと、学業よりその思い出の方が多い学校生活でした。中央線に『快速』も『特快』もない時代、新宿まで全駅過ぎてから、代々木、千駄ヶ谷、信濃町、四谷と、一時間近くかかりましたが、運行は正確でした。卒業後、岩崎倉庫(株)に勤務して、その後結婚しました。

◆仕事をしていく大変さ

『株式会社ヤマヲ』という、現在は調理麵製造の会社をやっています。主にファミリーマートなどに卸しています。従業員昼夜合わせて五〇〇人弱の人事管理や、経理の仕事などを、夢中でやってきました。最近ですと、人柄に加えてパソコン技能のある人が大切となっています。食品を扱う会社なので、食中毒に気を遣い、衛生面の設備導入をして、トラブルが無いように細心の注意をしています。

家事との両立は、義母、お手伝いさんの協力を得て、四人の子どもを育てました。平成十年、栄町の新工場に移り、亡くなった主人のあとを継いで息子夫婦と孫達が一生懸命頑張っています。

◆後輩に伝えたいメッセージ

男女同権の世の中になり、女性の優秀な方が多くなり心強く感じます。(でも反面ストレスも多いと思います)「夢」って誰でもかなうものではないと思います。それに向かって努力することとは大切ですが、仲間を大切にして心豊

かに過ごして下さい。

最後に、武蔵野女子学院創立九〇周年おめでとうございます。百周年に向かって、益々充実した学校になるように、お祈りします。



加藤 静枝
(高女16回生)
表千家茶道教授
草月流生け花教授

◆女子学院での思い出

お世話になりました高等女学校は、仏教の教えが浸透していたように思います。お友達は、穏やかで優しい心を持った教養のあるお嬢さんの女学生ばかりでした。私は、長女で母の体が弱かった為に、家事や兄弟の面倒をみなくてはならず、勉強の時間が取れなかったので、お友達によく教えてもらったことを覚えています。

当時、高等女学校に進学をする方は少なかったのですが、許婚(いひなずけ)の家へ嫁ぐには、高等女学校卒業・茶道教授・華道教授を取得して下さいとの要望がありましたので、両親が進学を勧め、私も学校が大好きで、立川から一生懸命通った事が、今となっては良い思い出です。

◆辛かった事・嬉しかった事

若い時から、本当によく働きました。家の為にという強い責任感があつたように思います。七十年前の戦時中、私には許婚の方が

いましたが、その方は戦死をしてしまいました。その報告を聞く為に、たった一人で戦死者名簿のある場所に行ったのを覚えています。その後、ご縁があり結婚を致しましたが、家業と子供を残して、夫が一年後に他界してしまいました。僅か一年の間に、結婚・出産・夫との別れを経験しました。これは、今だからお話しできるのかも知れません。

しかしながら、高等女学校から茶道・華道を習っていましたので、草月流生け花教授として、立川教室・銀座教室・高校の華道部講師・企業にも呼ばれて教えていました。六十歳を過ぎては、自分の愉しみとして地域の主婦の方々に教えていました。表千家茶道の教授もしていました。お茶会にもよく出かけ、お道具を拝見するのがとても好きでした。あの時代は、女性のたしなみとして、沢山の方々がお稽古をされていました。現在は、娘夫婦と一緒に生活をし、毎日楽しく過ごしています。九十歳にして、長生きするのもよいものと思っています。

◆後輩に伝えたいこと

今は、とても恵まれた時代だと思っています。その中で、何か自分の興味のある事、夢中になれる事を見つかけられるといいですね。

私も、茶道・華道を習っていたので、それが自分の仕事に繋がっていったことは、諦めないで続ける事の大切さを知りました。ちよっとした事でも、将来、自分の道がそこにあるかも知れません。若いことは、無限大です。

先生お元気ですか？

この頃のわたくし

元国語科教諭 佐藤 利治



今年一月に武蔵野女子学院の箏曲部の部長を務めていた布施（旧河合）美佐枝さんのご命日に、お線香をあげに行って参りました。

河合さんは昨年一月に彼岸に逝かれたのを箏曲部のOGの方の今年の年賀状で知らされたのでした。彼女が在校中は箏曲部で、日豪高校交流大会でオーストラリアに行ったこともありました。いろいろと気くばりができ、よく部員の面倒をみる生徒でした。五十数歳だったとか、まだまだこれからの人生だったのでしょうか。とても残念に思いました。彼女にとって、武蔵野女子学院での三年間はこうだったのでしょうか。

また、昨年は一九七一年卒業生のクラス会が催されました。

ご縁と感謝

元芸術科教諭

板東

佳（高校十五年生）



京都の宇治の山々に続く信楽町朝宮は、お茶をなまりわいとする山里です。介護のために退職し、移り住んで十三年。今でこそ介護のことが社会的に取り上げられて来ましたが、当時は手探りの日々。地域の方々に助けられ支えられて在宅介護で母を送ることができました。お世話になったお返しにと「今、私にできること」ボランティアをしています。少し時間のある時は、京都に出掛けて文化や歴史に触れて、新しい発見を楽しんでいます。

春になると生徒として通学した六年間、教員として勤務した三十年間、武蔵野の豊かな自然を残す学院で過ごした日々、特に正門での「一礼」は、仏教教育を通して、今の時代、失いかけて

このクラスは今迄も、隔年毎にやっていたのですが、昨年は私の喜寿ということで続けて催してくださったのです。還暦を過ぎた娘達ですが、お会いして、話を始めると、いつの間にか高校時代に戻っています。まさに教師冥利に尽きます。

現職を退いて十五年になろうという現在に至っても、武蔵野女子学院とは縁は切れないようです。幸いなことです。

現在の私は、胸にペースメーカーを埋め、糖尿病歴十年、その上、昨年は腰部脊柱間狭窄症を発症し、一時は歩けなくなるなど、ガタの来た体を抱えながら、陶芸と写真をやって十年になっています。趣味とはいえ、一緒にやって来た仲間が上手くなっていくのに、自分だけいつまでも同じところにうろろしているのは、少し忸怩たる思いがあるのですが、それでもコツコツやっています。それが結構楽しいし、充実感も持てるのです。

あと何年の人生かと、ふと思ってしまうこともあるのですが、好きなことを自分流に、のんびりと過ごす贅沢をしみじみ感じている今日この頃です。

ている人間の心の教育の原点を示す大切な姿として、懐かしく思い出しています。

昨年、私にとって大きな出会いがありました。それはくれない会のご尽力により出版された「あの日をわすれないために」のご本とです。諸先輩方の戦争による悲痛な叫び、平和への切なる願いがひしひしと伝わり、昭和二十年生まれの私にも幼い日の戦後の荒廃した光景や暮しが蘇り、涙いたしました。改めて平和の有難さと大切さを痛感し、このご本との出会いこそ、武蔵野女子学院とのご縁の賜物と感謝しています。時が経ち、映像の世界が日常化する今、何事にも命の痛みが伴わなくなっています。この機会に是非多くの方々に「あの日をわすれないために」を読んでいただき、未来の平和の糧として後世に伝わってゆけばと思います。戦後七十年が過ぎ、又新たな平和への一步を皆様と共に踏み出したいと思っています。

平成28年度 武蔵野大学「日曜講演会」

日程表

平成28年度 武蔵野大学 「日曜講演会」 日程表	月 日	所属・役職	講 師	講 題
	H28 4 / 17	学校法人 武蔵野大学 学院長	田中 教照	往相回向と還相回向
時間：10:00～11:30 会場：武蔵野キャンパス 4月は雪頂講堂 上記以外は5号館 (グリーンホール) 仏教教育部事務局 TEL 042-468-9424	5 / 15	龍谷大学大学院 実践真宗学研究所長 龍谷大学 文学部 教授	深川 宣暢	親鸞における救済の構造
	6 / 19	大正大学 仏教学部 教授 大正大学学長補佐	塩入 法道	ハスに託された思い ― 仏教と蓮華 ―
	7 / 17	東京学芸大学 教授	稲見 正浩	古代インドにおける「人間の目的」
	9 / 11	大阪大谷大学 教授	梯 信暁	平安時代の阿弥陀仏信仰
	10 / 23	放送大学 特任教授 (埼玉学習センター所長) 埼玉大学 名誉教授	渋谷 治美	親鸞の阿弥陀信仰の秘密 ― 誹謗正法をめぐる ―
	11 / 20	武蔵野大学 文学部長 小説家 / 日本文藝家協会副理事長	三田 誠広	法華経と浄土三部経
	12 / 18	武蔵野大学 教養教育部 助教	日野 慧運	成道会によせて
	H29 1 / 8	駒澤大学 仏教学部 教授	吉村 誠	玄奘三蔵のシルクロード
	2 / 19	武蔵野大学 学長	西本 照真	浄土の菩提心

会 員 の 広 場

26 回生同窓会

石野 悦子

◆40年ぶりにみんなの顔が見たくて…

【最初で最後の同窓会】を九月五日（土）武蔵野大学・武蔵野女子学院内の多目的ホール（グリーンホール）にて行いました。約一〇〇名の同級生とお世話になりました先生方一〇名をお呼びして、楽しい時間を過ごさせていただきました。

昭和五十年三月。進学や就職など様々な進路を選択して、四一八名は卒業いたしました。学年の人数が多かったせいでしょうか、四十一年の間一度も同窓会を行っていませんでした。しかし、今年で私たちも還暦を迎えます。節目の年に、女子学院で過ごした仲間と再会したいという気持ちが強くなり、同窓会を企画いたしました。年のせいでしょうか？「〇〇さん元気かな？〇〇先生に、久しぶりにお会いしたいな。」と強く思うようになったのです。

昨年の四月より準備を始め、くれない会の方々に名簿を作成していただきました。しかし、卒業生全員の住所が記載されておらず、記載されていても引越越しされていて住所が変わっていた方もいらっしゃいました。そのため、全員の住所を知ることができず、同窓会のご案内状を発送することができなかった方もいました。とはいえ、武蔵野女子学院同級生の絆の深さの賜物でしょうか。友人から友人へと住所を教えてくださいました。メールやはがきでの出席の知らせを頂いたり、懐



かしい仲間からのお返事をたくさんいただきました。うれしかったです。また、今回の同窓会を開催するに当たり、多くの同級生に案内状の発送や会場設置などのお手伝いを頂きました。すぐに心が通じ合い、忙しい中でも快く手伝ってくれることがありがたく、学生の頃の学校行事を思い出して懐かしく温かな気持ちになりました。

当日は、二時間を予定しておりましたが三時間に延長して、久しぶりにお会いした先生や同級生とゆっくりお話ができました。一瞬で、高校生の頃に戻ったようで、本当に時間が過ぎるのが早く感じました。この同窓会をきっかけに、各クラスでのクラス会を開きたいという話も伺いました。早速、黄組は今年クラス会を開くそうです。「最初で最後の同窓会だなんて言わないで、また同窓会を開きましょう。」と言って頂くことができ、私も発起人としてがんばってよかったと思いました。

最後に、名簿作成にご協力いただいたくれない会の方々にこの場をお借りして御礼を申し上げます。ありがとうございます。先生と同級生にお会いできたこと、本当にうれしかったです。また、クラス会でお会いできるのを楽しみにしております。そして、みなさまのご健康とご多幸をお祈りしております。

35 回生黄組同窓会

千葉智佐子（梶川）

関西で暮らすクラスメイトの帰京に合わせ、平成二十七年十一月二十一日（土）、国分寺でクラス会を行いました。待ち合わせ場所の国分寺駅コンコースには、亥年を迎えるとは思えないキラキラとした乙女たちが集まっていました。急遽、決まったスケジュールでしたので『プチクラス会』としての呼びかけでしたが、十三名の宴となりました。それぞれ、とても素敵に歳を重ねてはい



ますが、寄る年波には勝てず…小さな悩みを抱えつつの日々（諸先輩方には、まだまだお若いでしょう）とお言葉を頂戴してしまいそうですが、様々な話題で盛り上がり、とても有意義な情報交換の時間となりました。

今年は、ぜひ担任の阿部先生にもご参加いただき、『プチ』ではないクラス会を開きましょう！という話が挙がっています。まだまだ、アクティブな三十五回生です。企画を練って、素敵なクラス会を開きたいと思っています。阿部先生、どうぞ楽しみにしててくださいませ。

LINE トークルーム「阿部一族こそバナナかな」を始めました。現在、21名のメンバーとなっています。まだの方は、ぜひご参加を！

35 回生桜組同窓会

幹事

村上千華子 八幡雅子

福田知柄 内野弘美

山下東美

三十五回生、桜組同窓会を五十歳の節目となる、昨年十月十一日（日）に開催致しました。当日は樹華祭を皆んなで訪れ、懐かしい恩師や校舎に感動し、その後会食を行い一日だけ高校時代に帰り、楽しい時を過ごしました。



会員からのお便り

◆高女4回生 猪狩トシ子（北村）

101才となりましたが地域の皆様と親しくさせて頂き楽しく過ごしております。

◆高女11回生 中嶋梅子（加藤）

学祖高楠先生から教訓を受けた一人です。息子夫婦、孫、ヒコと賑やかに暮らしております。

◆高女13回生 志村ミドリ（神田）

高齢になりましたが時折、昔懐かしい女学校時代を想い出しています。

◆高女14回生 今野和子（平井出）

91才を迎え腰痛をかかえながらも元気に過ごしております。

◆高女15回生 戸田静子（関根）

母校の面影を偲びつつホームで過ごして居ります。回顧の情に浸りつつ母校の発展をお祈り申し上げます。

◆高女16回生 岡部喜久枝（岩崎）

「あの日をわすれないために」すばらしい御本ありがとうございます。記憶から遠のきつつあった、あの時、あの日の日々を思い起こさせて頂きました。

◆高女17回生 皿井美代子（小栗）

「あの日をわすれないために」を夢中で読みました。夫と支え合いの日々を感謝しています。

◆高女17回生 竹内和子（高橋）

元気に家の用事はしております。散華された方々の御姿を想い「どうしてあの様な事が」と心が痛みます。

◆高女18回生 松村美穂子（瀬戸）

近畿支部50周年には色々ご配慮頂き東京から皆様ご出席頂きありがとうございます。感動と感謝の一日でした。

◆高女19回生 桃田啓子(大庭)

自宅から一時間かかる博多のダンスレッス
ン場まで週2回通っています。クラス会がな
くなって淋しいです。

◆高女21回生 岩崎政子(竹下)

戦後70年、85才になりました。老いを感じ
乍ら一日一日を大事に明るく過ごしております。

◆高女22回生 川島扶美子(高橋)

70年前の出来事今でも心が痛みます。二度
と戦争のない国でと願っております。

音楽鑑賞、観劇、旅行、スキーへ。茶会で
お茶を点てたり散歩もかかさず行っています。

◆高校3回生 伊藤登子(小松)

満82才になりましたがお蔭さまで年相応に元
気で囲碁とフォークダンスを続けております。

◆高校11回生 福島靖子

三鷹のサテライト教室にて講座を受講して12
年になります。楽しく過ごしております。

◆高校14回生 渡辺恵子(荒井)

6才の6月6日から始めた日本舞踊を今は
指導者として続けております。

◆高校16回生 神戸淑子(市倉)

絵画教室を4ヶ所で開催日本画その他制作
中心の生活。高齢の母の介護で月1回上京し
ています。

◆高校17回生 小野富子(山之内)

年を忘れて婦人会活動に稽古事、旅行に相
変わらず忙しくしております。

◆高校18回生 橋本直子(矢島)

三鷹のサテライト教室で上村先生の講座を
10年続けて受講しております。

◆高校19回生 浅井千恵子(鈴木)

2月に主人が死去しました。日増しに淋し
くなってきました。初めてのくれない会参加で
すが勇気を出して出席してみようと思います。

◆高校21回生 鈴木文江(奥住)

コーラスと孫守りに明け暮れています。

◆高校32回生 守上 潤(石川)

一人暮らしの母達の手伝いで京都へ行つた
り宝塚へ行ったりと毎日バタバタしています。

◆高校37回生 庄田奈津子(小島)

息子が中3、下の双子の娘が小3でまだま
だ忙しい毎日を送っております。

◆高校38回生 藤原倫子(並木)

娘が小学校に入り時間にゆとりが少しず
つできそうです。

◆高校41回生 中村朋美(和田)

娘が10才と7才になりました。週2回子供
達に書道を教えています。

◆高校49回生 森 真美(山崎)

昨年第二子を出産し子育てに奮闘しています。

◆高校50回生 北村 円

専門学校を卒業して20才から働き15年目突
入で主任になりました。継続は力なりです。

◆高校57回生 小柳佳南子

病院の医療ソーシャルワーカーとして働い
ています。

◆高校58回生 緒方聖奈

社会人3年目となり日々忙しくしています。

◆高校59回生 久島ゆか

社会人4年目。都内のホテルのフロント勤務。
高2で留学した時の語学が生かされ英語を話さ
ない日はない程充実した日々を送っています。

◆高校61回生 杉山七海

板橋区の公立中学校で教師をしています。

◆高校65回生 井出綺香

中間テストや実習が多く忙しい日々ですが充
実しています。

◆高校65回生 渡部田稀

大学2年生に無事進級し新しいキャンパス
で学業やサークル活動に励んでいます。
この他たくさんのお便りいただきました。
ありがとうございます。

訃報

(敬称略・回生順)

謹んで哀悼の意を表します。

高女4回生 菊川八重子(松井)

平成26年1月

高女14回生

平成27年8月

高女19回生 柏木 絹子(荒井)

高女4回生 藤本 喜代(石綿)

平成27年2月3日

高女14回生

平成15年11月7日

高女21回生 斉藤和歌子(阿部)

高女4回生 平野 貞子(中村)

平成18年

高女14回生

平成27年4月6日

高女21回生 速水千鶴子(松浦)

高女5回生 八幡まさ子(野田)

平成20年

高女15回生

平成27年6月25日

高女3回生 田川 久子

高女10回生 戸部 澄子(新野)

平成23年1月8日

高女15回生

平成25年3月11日

高女4回生 樋屋 明子

高女10回生 服部 益世

平成26年10月27日

高女15回生

平成27年3月17日

高女5回生 菅谷 洋子

高女10回生 二葉 照江(三枝)

平成27年2月16日

高女16回生

平成27年9月19日

高女6回生 村岡千代子(遠藤)

高女10回生 岡野多嘉子(小林)

平成27年4月2日

高女16回生

平成14年12月1日

高女7回生 山下 徳子(末次)

高女10回生 岡本美佐子(木全)

平成27年10月22日

高女16回生

平成27年3月19日

高女7回生 橋本 郁子

高女11回生 前田 綾子(福田)

平成20年10月5日

高女16回生

平成27年6月30日

高女9回生 所 庸子(本橋)

高女11回生 谷部 房江(市原)

平成16年2月18日

高女17回生

平成26年7月30日

高女19回生 小林 泰子(村田)

高女12回生 浅野 アイ

平成23年12月20日

高女17回生

平成27年1月17日

高女22回生 石山千恵子(入山)

高女12回生 小野田雪霞(高水)

平成26年2月

高女17回生

平成27年6月23日

高女23回生 西村 恵子

高女13回生 中井川三子(沢田)

平成23年1月13日

高女18回生

平成27年11月4日

高女32回生 布施美佐枝(河合)

高女13回生 安積富美子(池上)

平成26年7月9日

高女18回生

平成27年4月14日

高女40回生 吉村 典子

高女13回生 永島 泰子(藤田)

平成27年1月16日

高女18回生

平成27年7月3日

高女19回生 榎本勢津子(倉片)

高女13回生 廣野 敏子(村内)

平成27年9月16日

高女19回生

平成27年11月18日

高女50回生 高橋 瞳(西岡)

近畿支部だより

第50回支部会を終えて

高校十六回生 支部長 藤尾 房江 (浅見)

平成27年10月29日。いよいよこの日がやってまいりました。

2年前の近畿支部会の折に、50回記念には、西本願寺にお参りしたいという声が上ががり、阿部会長が、本部も合同での参拝旅行を企画して下さいました。本部のお計らいで、学校の担当者を通じて西本願寺にお



願いで頂くなど、細部までの打ち合わせを重ねた上で当日を迎えました。私は不安と緊張でいっぱいになりながらも快晴の空に背中を押されて奈良市の自宅を

えしての御影堂での参拝式では、本願寺派総長で本学理事長の、石上智康先生の御法話を頂くことができました。その後書院や飛雲閣の拝観に続いてお祝いの会が開催されました。

近畿支部は、現在100名程の在籍者で、毎年懇親会を開いており、阪神淡路大震災の際には安否確認をして助けあうなど、卒業生の絆の強さを示しました。

東京を離れた地で50年以上もくれない会の旗を掲げてこられた諸先輩方に敬意を表して乾杯した後、鷹谷俊照先生からお父上の俊之先生の事や近畿支部との関わり等についてのご祝辞を頂戴しました。その後は、明るく和やかな女子学院の雰囲気につつまれて、一同で楽しい時を過ごしました。

今回遠路ご参加下さいました皆様、阿部会長と本部スタッフの皆様、そして、このような素晴らしい出会いとご縁を頂きましたすべての皆様に心から感謝申しあげます。

ピアノ・シロフォン寄贈記念コンサート

創立90周年を記念し、同窓生當麻喜代子様と「くれない会」が、中学校・高等学校にグラランドピアノ・シロフォンを寄贈いたしました。

6月6日、合唱部や卒業生による寄贈記念コンサートが開催され和やかなひとときを過ごしました。



本願寺特別参拝見聞記

高校十六回生 高橋 洋子 (北)

10月29日、新幹線に着いた京都は紅葉の賑やかな季節の前の静けさといった風でした。目的地の本願寺聞法会館では近畿支部の方々が待っていて下さり、そここで再会の笑顔です。さあよいよ本願寺参拝です。仰ぎ見る御影堂の大屋根の巨大さに驚きつつ堂内に入ると、外観の無彩色



とは対照的にそこは光り輝く世界でした。自然に「ああ、これがお浄土か」と思いました。何しろ美しいの一言なのです。

世界最大級の木造建築といわれる本願寺は信仰の場であるとともに、まさに眼福の超一級美術館でした。

の後、石上智康総長のご法話をお聞きしました。続いて唐門、書院、飛雲閣の拝観です。唐門は豪華な手のこんだ彫刻で飾られ、まさに「日暮の門」と実感です。大広間、白書院、能舞台、庭も当代の名だたる工人・絵師たちの手による、迫力と変化に富んだ美の極致でした。

樹華祭

10月10日・11日

文化祭「樹華祭」にバザーで参加して

高校19回生 亀澤 佳子 (渡辺)

同窓生皆様の力の結集で準備から会場への搬入、陳列へと楽しく行うことが出来ました。

当日(10月10日・11日)、多くの皆様にお越しいただき、お茶処では恩師と教え子との再会、また何年振りかの同級生との再会等々あり同窓会ならではの良さと和やかな雰囲気での二日間でした。

皆様、ぜひお出掛けください。

初めての方もぜひ!! お待ち致しております。

第一体育館建替工事始まる

50年間に渡り行事や授業で利用されていた第一体育館が平成28年9月竣工予定で工事が始まりました。

新第一体育館は地下1階、地上2階建てとなります。

散華乙女追悼会に参列して

早川 京子（高校十回生）

今まで追悼会やその後の懇談会に出席する機会もなく年月を過しておりましたので、諸先輩の方々のお話、大変ありがたく拝聴いたしました。その折に我が家が旧満州の引揚げ者である事を少しお話ししました。私は五歳でしたので覚えていたことも少なく、姉に聞いておりました事を含めてお話しいたします。

終戦時父は旧満州の役人で、新京に一家は住んでおりましたが、ソ連の兵が三、四人つらなって各家に入り、家族に銃をむけて動けなくして家の中の物を掠奪して行く日が毎日続き、私は恐怖のため足腰が立たなくなり、骨と皮ばかりの身体になり目だけがギョロギョロの恐怖症になっていったそうです。また若い娘さんの居る家では隠すのが大変で、隣同士連絡を取り合って、連れていかれないようにしたとか。

わが家は新京の中心地にあつたために、その日の内に出るように、立ち退きを言い渡され、引越し先を決めるのも大変で、また馬車に荷物を積んで、その周りを中国人に囲まれて荷物を持っていかれても、ただだまって見ているしかなかったようです。

昭和二十一年八月に帰国命令により先に若者を送り、私達は最後の引



揚船になりました。引揚船では亡くなる方が出ると仕方なく海葬です。私もこの様子だけは一枚の写真のように覚えております。船は汽笛を鳴らしながらその場所を三回周って、船のお葬式をしたそうです。散華乙女追悼会もこれから大事に皆様の気持ちの内にあつてほしいと思います。

「くれない会」が刊行した「あの日をわすれないために」も私のように七十五歳すぎの者でも、戦争の思い出がはつきりわからない者にとつて、こんなことがあつたのかと考える時間をいただいたと思います。先輩の方々の素直さと、けなげさに涙が出ました。

これからもずっと、平和の大切さを語りつがなければと思います。

ステップアップ
奨学金

武蔵野大学では創立 80 周年を記念し、建学の精神の顕揚と優れた人材の育成に資することを目的として創設した「ステップアップ奨学金」を、平成 28 年度も公募いたします。

その他、応募の詳細については、大学のホームページをご参照ください。

<http://www.musashino-u.ac.jp/>

生涯学習講座

本学の建学精神である仏教と、仏教の影響を受けた能・狂言に関する講座のほか、文学、政治経済、心理、教育、環境、医薬学など本学の特色を生かした魅力ある講座を年間 300 講座以上開講し、ご好評をいただいております。入会金は不要です。卒業生の方は受講料が 20% 割引になります。

■ 三鷹サテライト教室 (JR三鷹駅南口1分)

平成28年3月14日より南口に移転しました。

平成 28 年度前期講座 (抜粋)

講座名	講師名 (敬称略)
真宗入門 — 親鸞聖人の生涯に学ぶ —	小山 一行
楽しく学ぶ百人一首	上村 正人

など
97 講座以上

■ 千代田サテライト教室 (千代田女学園中学校・高等学校内)

(JR 四ツ谷・市ヶ谷駅徒歩 7 分、東京メトロ有楽町線麹町駅・半蔵門線半蔵門駅徒歩 5 分)

※ご希望の方には「講座一覧表」をお送りいたしますので、お問い合わせください。

武蔵野大学 生涯学習 検索

くれない会

平成27年度 活動報告

1. 会報「くれない」第36号
散華乙女70年出版記念号発行 4月25日付
2. 委員会 5月23日(土)
3. 総会 6月6日(土)
4. 樹華祭(バザー)参加 10月10日(土)、11日(日)
5. 西本願寺参拝・お祝いの会 10月29日(木)、30日(金)
6. 散華乙女追悼会 12月3日(木)
7. 高校67回卒業生同窓会入会式 2月22日(月)
8. くれない会教養講座 年3回開催
「むらさき会」との会合 年2回開催
9. 母校行事に出席
中学・高校入學式、同慶節、雪頂忌、彼岸会、散華乙女追悼会、中学修了式・高校卒業式
10. 母校行事に出席

平成28年度 活動予定

1. 会報「くれない」第37号発行 4月25日付
2. 委員会 5月14日(土)
3. 総会 5月28日(土)
4. 近畿支部会 10月2日(日)
5. 樹華祭(バザー)参加 10月8日(土)、9日(日)
6. 日帰りバス旅行 11月1日(火)
7. 散華乙女追悼会 12月3日(土)
8. 高校68回卒業生同窓会入会式 2月20日(月)
9. くれない会教養講座 年3回開催
「むらさき会」との会合 年2回開催
10. 母校行事に出席
11. 中学・高校入學式、同慶節、雪頂忌、彼岸会、散華乙女追悼会、中学修了式・高校卒業式

平成26年度 決算報告

収入の部

単位：円

項 目	A 予算額	B 決算額	差引額	備 考
前年度繰越金	1,569,186	1,569,186	0	
入会金	3,225,000	3,225,000	0	15,000 × 215 名分
銀行利息	500	411	▲ 89	普通預金の利息
寄付金	10,000	15,000	5,000	
雑収入 等	0	20,062	20,062	パスハイク残金
維持会費	2,000,000	1,885,000	▲ 115,000	1,000 × 1885 名分
合 計	6,804,686	6,714,659	▲ 90,027	

支出の部

単位：円

項 目	A 予算額	B 決算額	差引額	備 考
くれない会基金積立	800,000	800,000	0	
通信費	70,000	64,164	5,836	電話・葉書・切手
会報費	1,910,000	1,912,781	▲ 2,781	印刷・封入・発送費・封筒・伝票印刷
総会費	60,000	37,730	22,270	茶菓子・レクリエーション
会議費	80,000	117,331	▲ 37,331	委員会・むらさき会会議費他
講習会レク費	80,000	49,960	30,040	講師お礼・交通費他
慶弔費	60,000	0	60,000	お花代他
渉外費	40,000	38,317	1,683	中元・歳暮他
散華乙女追悼会	40,000	82,452	▲ 42,452	散華乙女費用
近畿支部交流費	210,000	177,565	32,435	近畿支部出張費・近畿支部運営費補助
新卒関係費	200,000	180,800	19,200	卒業記念品
消耗品費	0	0	0	事務消耗品として計上
交通費	450,000	400,800	49,200	事 務 局
人件費	1,300,000	1,021,400	278,600	事務局
振込手数料	210,000	199,008	10,992	維持会費振込手数料
予備費	100,000	66,960	33,040	バス旅行築地本願寺懇志・板垣先生お礼
雑費	30,000	18,658	11,342	お茶・台所用品・紙コップ他
事務消耗品	100,000	37,073	62,927	タックシール・インク・文具
インターネット	100,000	52,015	47,985	回 線 使 用 料
小 計	5,840,000	5,257,014	582,986	
次期繰越金	964,686	1,457,645		
合 計	6,804,686	6,714,659		

(収入実績)

6,714,659 円 - (総支出実績) 5,257,014 円 = 1,457,645 円
次期繰越金内訳 (三菱東京 UFJ 銀行普通預金)
1,371,400 円 + (ゆうちょ銀行) 50,393 円 + (現金) 35,852 円 = 1,457,645 円

平成27年度 文化祭会計報告

収入の部

バザー売上金	
1 日目	176,050
2 日目	70,230
合 計	246,280

支出の部

お手伝いの方のお菓子代	1,404
中高等へのお礼	4,320
中高への活動助成金	30,000
食事・お茶	50,293
紙コップ・文具他	5,561
合 計	91,578

収入 - 支出 = 差引 154,702

※収益金 154,702 円は、くれない会基金に繰り入れました。
以上の通り報告致します。

平成 27 年 10 月 19 日
会計 市川 恭子
尾澤のり子

平成27年度 予算

収入の部

単位：円

項 目	平成26年度決算額	予算額	備考
前年度繰越金	1,569,186	1,457,645	
入会金	3,225,000	3,195,000	15,000 × 213 名
銀行利息	411	500	普通預金利息
寄付金	15,000	0	
雑収入 等	20,062	0	
維持会費	1,885,000	2,000,000	
合 計	6,714,659	6,653,145	

支出の部

単位：円

項 目	平成26年度決算額	予算額	備 考
くれない会基金積立	800,000	800,000	
通信費	64,164	70,000	電話・葉書・切手
会報費	1,912,781	1,956,246	印刷・封入・発送費・封筒・伝票印刷
総会費	37,730	40,000	茶菓子・レクリエーション出演料
会議費	117,331	120,000	委員会・むらさき会会議費他
講習会レク費	49,960	50,000	講師お礼・交通費
慶弔費	0	50,000	お花代他
渉外費	38,317	50,000	中元・歳暮他
散華乙女追悼会	82,452	50,000	散華乙女費用
近畿支部交流費	177,565	160,000	近畿支部出張費・近畿支部運営費補助
新卒関係費	180,800	200,000	新卒記念品
交通費	400,800	450,000	事務局
人件費	1,021,400	1,300,000	事務局
振込手数料	199,008	200,000	[あの日をわすれないために]本・寄付等の手数料
予備費	66,960	100,000	
雑費	18,658	20,000	お茶・台所用品・紙コップ他
事務消耗品	37,073	50,000	文具・タックシール他
インターネット	52,015	60,000	回線使用料
次期繰越金	1,457,645	926,899	
合 計	6,714,659	6,653,145	

平成26年度 くれない会基金決算報告

収入の部

単位：円

項 目	金 額
前年度繰越金	66,445,978
入会金より基金積立	800,000
文化祭収益	105,642
寄付	0
受取利息	25,626
合計	67,377,246

支出の部

単位：円

項 目	金 額
中高へのピアノ寄贈	1,000,000
むらさき会へのお祝い	273,360
支出合計	1,273,360

繰越金 = 前年度繰越金 + 収入 = 66,445,978 + 931,268 - 1,273,360 = 66,103,886

以上の通り、報告いたします。

平成 27 年 5 月 14 日
会計 市川 恭子
尾澤のり子

平成 26 年度決算報告書は、収支、関係書類類、審査した結果、正確なものと報告いたします。

平成 27 年 5 月 14 日
会計監査 山本 佳子
高田 悦子

『あの日をわすれないために』本代は基金より算出致しましたが、決算報告は平成 27 年度にご報告いたします。

武蔵野大学同窓会推薦入試
の特色について

武蔵野女子学院高等学校卒業生の子、孫、兄弟姉妹、甥、姪の方が出願できます。
くれない会からの推薦書が必要です。
面接と出願書類の総合評価で選抜します。

対象学部・学科		学業成績などの基準
学部・学科	学業成績などの基準	
法学部 経済学部 文学部 人間科学部 教育学部 環境システム学科 建築デザイン学科	全体の評定平均値と英語・国語・数学の3教科の各評定平均値	
薬学部	全体の評定平均値と英語・数学・化学の各評定平均値	
看護学部	全体の評定平均値と英語・国語・数学・理科の各評定平均値	
数理工学科	全体の評定平均値と数学（数学Ⅲまで）の評定平均値	

※対象学部・学科および基準は昨年度のものであり、参考としてご覧ください。
※今年度入試の入学試験要項は8月頃に本学 HP にて公開予定です。

入試に関するお問い合わせ

入試センター ☎ 03-5530-7300
事務取扱時間 ☎ 月～金 8 時 45 分～17 時

中学・高等学校受験者の
優遇措置について

武蔵野女子学院中・高等学校を卒業された方々や、在学している生徒の三親等以内または本学幼稚園の卒園者本人、本学教職員の子女のうち、本中学・高等学校を第一志望と考えている方は必ず「入試広報部」までご連絡ください。受験の優遇措置について具体的に説明させていただきます。
また「入試広報部」では中学・高等学校の受験一般について、ご相談を承っております。どうぞお気軽にご来室ください。

入試に関するお問い合わせ

入試広報部 ☎ 042-468-3377

維持会費納入について

コンビニ・ゆうちょ銀行払い導入しました

現在くれない会会員数は23417名、会報送付者15310名です。くれない会は維持会費で運営しております。今年度から幅広い年齢の方に、いつでも、簡単におさめられるコンビニ払いを導入いたしました。会員の皆様お一人でも多く納入いただき、くれない会維持のためにご協力お願いいたします。

コンビニ払いの納付期限は、9月25日になっておりますが、ゆうちよ銀行では、通年この払込み用紙が使用できます。

コンビニ・ゆうちょ銀行・郵便局でのお支払

下線を切り離しご利用ください

払込取扱票										通常払込料金 加入者負担		
02 東京												
口座記号欄 金額欄												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	金 額	1 1 0 0	
武蔵野女子学院同窓会 くれない会										金 額	備考	
おたころ おなまえ										(住所等非表示払込票)		

見本

加入者
の
依
頼
人
・
通
信
欄

001
 会員様名十様



 (91)547771-9001120160314020000006
 161231-0-001100-9

お支払期限
 2016年12月31日
 20160314003526860
 振込口座番号(振込用紙)

振替払込請求書兼受領証

払込氏名										金種・単位	
1 2 3 4 5 6											
7 8 9 1 0											
加入者氏名										お照合せ番号	
武蔵野女子学院同窓会 くれない										20160314003526860	
金額										1 100 円	
おなまえ										受取人	
会員様名十様										武蔵野女子学院同窓会 くれない会	
日 附 印										受領印	
料 金										収入印紙 (収入印紙を貼る場合はここに貼る)	
備考										印	

コンビニ・エンストリア等店舗
 代行会社リコーリース(株)

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (ゆうちょ銀行) (ゆうちょ銀行)

これより下欄には何も記入しないでください。

くれない会運営の為に、皆様のご寄付を
お願いいたします。

02		払込取扱票		通常払込料金 加入者負担		振替払込請求書兼受領証	
口座記号		口座番号（右記で記入）		金 額		口座記号	
001505		65957		金 額		001505	
				備考		65957	
同窓会くれない会				同窓会くれない会			
【寄付・本専用】				【寄付・本専用】			
本 代 ⑩1500 円 ×		冊		円		円	
送 料 一律500 円		2 冊まで（郵送希望者のみ）		円		円	
ご寄付				円		円	
合 計 ご記入ください				円		円	
封筒の宛名シール				見 本			
（ご連絡先電話番号）		旧姓（ ）		日 期		日 期	
（ゆうちょ銀行）				印		印	
この受領証は、大切に保管してください。				この受領証は、大切に保管してください。			



七十年前の戦争の悲劇を忘れないために、武蔵野女子学院同窓会くれない会は、当時の学院生の貴重な証言を集めた冊子『あの日をわすれないために』を制作いたしました。

同窓生はもちろん、多くの方々に、本校の歴史の一部である、あの日をわすれないために是非お手元に置いていただければ幸いです。

くれない会 会長 阿部美枝子

赤い払込取扱票に、「あの日をわすれないために」(一五〇〇円)の冊数と本代、郵送を希望される方は、送料を、一律五〇〇円(二冊まで)記入下さい。

又、くれない会にご寄付くださいます方は、金額を記入の上、合計金額を必ず明記して郵便局にてお振込みをお願いします。

くれない会事務局にて直接販売もしております。(委員会・総会・文化祭バザーにおいても販売いたします。)

尚、紀伊國屋書店(新宿本店、新宿南店、横浜店、吉祥寺東急店)でも販売しております。(この場合は別途消費税がかかります)その他、ご不明な点に關しましては、くれない会までお問い合わせ下さい。


Book

発売中

あの日をわすれないために

武蔵野女子学院生の戦争証言集

武蔵野女子学院同窓会くれない会編
四六版 定価 一五〇〇円